



隈府小だより

学校教育目標 「自ら考え なかまと高め合う 隈府小
～ 明日が楽しみな学校をめざして ～」

隈府小学校
学校だより No.6
文責 芹川博文
5月22日(金)

「全力を出し切るからこそ 全員で楽しめる」

～ 団長、副団長の思いのこもった言葉から ～

僕たち白団は、全力で団結します。僕が団を引っ張って、優勝を目指します。最後の運動会、白団全員で笑って、楽しかったと言える運動会にしたいです。
白団団長 森本 康助

令和8年度 隈府小学校運動会スローガン
きょう どりやく しん
今日までの努力を信じて
なかま
仲間とともにフルパワー
しょうり わいふ こ
勝利をめざせ 隈府っ子

僕ら赤団は、一致団結して最後は笑顔で楽しかったと言える運動会にします。全力で楽しんで、全力を出し切ります。
赤団団長 渡邊 暁也

2人の団長が、全校児童に整列を呼び掛けていました(右写真)。運動会の主人公は子どもたち。であるならば、児童自身が自分たちで作り上げる苦労も喜びも感じてほしいと願います。

「全力を出し切るからこそ、全員で楽しめる」。この言葉は、ランチサミット(校長室での給食談話)で、団長、副団長4人の思いを聞いている時に出た言葉です。子どもたちは、大人の予想以上の可能性を秘めていると信じます。いよいよ本番、天気も含め“予想を超える”隈府小大運動会をご期待ください。



「2年生になるとこんなに成長されるんですね」

保護者の方から、「とても嬉しいことがありました」と、お話をいただきました。「ある朝、登校を渋っていた娘(1年生)と、正門を入ったところで立ち止まっていたところ、『私が連れていきましようか』と、2年生の女子児童が声を掛けてくれ、連れて行ってくれました」とのこと。「2年生になると、こんなに成長されるんですね」と、感激された様子でした。その話に、私も元気をいただきました。日常の様々な経験の中で、子どもたちの優しさが育っています。



「間違いから人は成長する」

～ 授業中の ぼつりつつぶやいた児童の言葉から ～

先日、すすく学級の授業を見ていた時の出来事。一人の児童が詩を音読した後、先生と児童たちとの対話で、一人がぼつりつつぶきました。「間違いから人は成長する」。その時、教室に共感と感動のさわやかな風が流れるのを感じました。音読された詩の一部を紹介します。

うつむき うつむき
そうっと上げた手 はじめて上げた手
先生がさした
どきりと胸が大きく鳴って
立ったとたんに忘れてしまった
なんだかほそほそしゃべったけれども
何を言ったか ちんぷんかんぷん
私はことりと座ってしまった
体がすうつと涼しくなって
ああ言やあよかったーこつ言やあよかった
あとでいいこと浮かんでくるのに
それでいいのだ いくともいくとも
おんなじことをくりかえすうちに
それからだんだんどきりがやんで
言いたかったことが言えてくるのだ
なんどもなんども言ってるうちに
まちがううちに
言いたいことの半分くらいは
どうやらこつやと言えてくるのだ
そうしてたまには答えも当たる
まちがいだらけの僕らの教室
おそれちゃいけないフラッシュやいけない
安心して手をあげる
安心してまがえや

(「教室はまちがうところだ」
詩田 晋治 より 一部抜粋)